

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称

(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

2 工事場所

古河市本町一丁目4434番17

3 工期

契約日から令和3年6月末日
(共通仮設費率の算定に用いる工期 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで)

4 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行 令別表第一	備考
① 消防署庁舎	鉄骨造	地上2階建	403.54	(15項)	

5 工事種目(●印を付いたものを適用する。)

建物別及び屋外 工事種目	①	②	③	④	⑤	屋外
●空気調和設備	一式					
●換気設備	一式					
○排煙設備						
○自動制御設備						
●衛生器具設備	一式					
●給水設備	一式					一式
●排水設備	一式					一式
●給湯設備	一式					
○消火設備						
○厨房機器設備						
●ガス設備	一式					

6 指定部分

※無●有
対象部分： 工期：令和 年 月 日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間(建設業法により必要になった場合)

1 専任期間の始期

請負契約締結の日から、(・現場施工に着手するまで(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで)の期間・令和 年 月 日までの期間)については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期

工事完成後、検査が終了(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中断

自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8 工事範囲

図示のとおり

9 機械設備工事概要

1. 空気調和設備：空気熱源ヒートポンプパッケージエアコン(EHP)による個別空調方式を設置する。

2. 換気設備：換気が必要な室は第3種換気設備を設置する。

3. 衛生器具設備：室用途に適す器具を設置する。

4. 給水設備：給水方式は、ポンプ直送方式とし各給水箇所へ供給する。

5. 排水設備：排水放流先は、公共下水道(汚水・雨水分流)とし、雨水は、浸透槽を設置し宅地内浸透処理とする。

6. 給湯設備：ガス瞬間湯沸器により、各給湯箇所へ供給する。

7. ガス設備：ガス種別はプロパンガスとする。

10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は茨城県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は茨城県建築工事特別共通仕様書による。

II 工事細目仕様

1 共通仕様

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、茨城県機械設備工事特別共通仕様書(以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(以下「標準仕様書等」という。)及び監督員の指示に従い施工する。

なお、興営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2 特記仕様

(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、●印のものは適用しない。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章 項目

① 機材等

2 電気保安技術者

③ 施工条件

④ 技能士の適用

⑤ 機材の検査及び試験

⑥ 監督員事務所

⑦ 官公署その他への届出手続等

⑧ 工事用電力・水等

⑨ 工事用仮設物

⑩ 足場・さんばし類

⑪ 残土処分

⑫ 埋め戻し土・盛土

⑬ 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用

⑭ 発生材の処理等

⑮ 容量等の表示

⑯ 配管

⑰ 耐震施工

17-1 あと施工アンカー

本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7Aハを含む有無を確認し、7Aハを含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、茨城県産とするよう努めるものとする。

●置く ※置かない

施工時間
※行政機関の休日に関する法律(第83第91号)に定める行政機関の休日以外。
※上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。

※配管施工(配管工事) ●建築板金施工(風通制作及び取付け)
※熱絶縁施工(保温工事) ●冷凍空調調機器施工(冷凍空調機器の据付け)

検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。
※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所(事前に監督員の承諾を得る)に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。
ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。

●雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに(概ね3ヶ月以内)流入水・処理水の水質試験を行う。
試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。
ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。

●本工事で ●設ける(規模) ※設けない
工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は発注者が代行し遅滞なく行う。

●本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。

●すべて受注者の負担とし、構内につくことが ●できる ●できない

●※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ●本工事とする。

●埋め戻し後の建設残土は、●監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
※構外搬出適切処理する。

●●機切土の中の良質土(但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ※山砂の類

●契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、※使用できる。 ●使用できない。
再生砂の使用に先立ち、●購入あたり1機体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

●※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。
(構外搬出処理費は ※本工事 ●別途)

(1) 引渡しを要するもの()

(2) 買取処分をするもの()

(3) 再生資源化を図るもの(●硬質塩化ビニル管 ●)

(4) 特別管理産業廃棄物()

●※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。

(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。

(2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

(1) 地中埋設配管(排水管を除く) ※要(図示の箇所) ●不要

1) 地中埋設管(コンクリート製) ※要(図示の箇所) ●不要

2) 地中埋設管(キャストアイ) ※要(舗装部の分岐、曲部) ●不要

3) 埋設表示テープ(2倍折込み) ※要

●設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計・●施工指針2014年版」により行う。
震度Kv(Kw/2)を用いて計算する。
設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設計用水平震度

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
	2.0 (2.0)	1.5 (1.5)	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)
	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.0)	1.0 (1.0)	0.6 (0.6)
	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)
	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

(注) () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
< > 内の数値は水櫃類に適用する。

●※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階
中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの(平屋建の場合は無し)

●重要機器は次のものを示す。
※給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器
防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置
火を使用する設備 避難経路上に設置する機器

●機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。

●重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを決定すること。

●施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。

●金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。

●接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)

●あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。ただし、設計用地震力(水平及び鉛直)は次の設計用水平震度K 及び設計用鉛直

⑱ 防露保温工事

標準仕様書第2編によるほか下記による。

空気調和設備工事の保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
ドレン管	屋内露出(一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ
	天井内、P・S内及び空間壁中	c2・(ロ)・Ⅶ
蒸気管	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	e3・(ハ)・Ⅶ
	屋内露出(一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅱ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅲ
冷水・冷温水管	天井内、P・S内及び空間壁中	C2・(ロ)・Ⅱ
	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)	D・(ロ)・Ⅱ
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	E3・(イ)・Ⅱ
温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ
	天井内、P・S内及び空間壁中	C2・(ロ)・Ⅰ
排水管	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)	D・(ロ)・Ⅰ
	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	E3・(イ)・Ⅰ
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	

(注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。
屋内露出部 ※保温化粧カバー(※樹脂製・亜鉛メッキ鋼板製) ●SUS製
屋外露出部 ●溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ※SUSラッキング
●保温化粧カバー(●樹脂製・亜鉛メッキ鋼板製 ※SUS製)
2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、フルミガラス化粧原紙を使用する。
3. 機器類の保温材の種別は、(※グラスウール保温材 ●ロックウール保温材)とする。

ダクトの保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
長方形ダクト・・・	屋内露出(一般居室、廊下)	J1・(イ)・XⅠ
	屋内露出(機械室、書庫、倉庫)	I・(イ)・XⅠ
	屋内隠ぺい、D・S内	I・(ロ)・XⅠ
円形ダクト・・・	屋内露出(一般居室、廊下)	O1・(イ)・XⅠ
	屋内露出(機械室、書庫、倉庫)	N・(イ)・XⅠ
	屋内隠ぺい、D・S内	N・(ロ)・XⅠ
消音内貼り	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	P3・(イ)・XⅠ
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	
	サブライチャシナー 消音チャンパー・消音エルボ	M・(ロ)・Ⅹ L・(ロ)・Ⅶ

給排水衛生設備工事の保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
給水管・・・	屋内露出(一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ
	天井内 P・S内及び空間壁中	c2・(ロ)・Ⅶ
排水及び通気管	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	e3・(ハ)・Ⅶ
	屋内露出(一般居室、廊下)	—
	機械室、書庫、倉庫	—
給湯管・・・	屋内露出(一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ
	天井内 P・S内及び空間壁中	c2・(ロ)・Ⅰ
給湯管・・・	屋内露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	d・(ハ)・Ⅶ
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	
	排水及び通気管	—
給湯管・・・	屋内露出(一般居室、廊下)	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内 P・S内及び空間壁中	—
給湯管・・・	屋内露出(バルコニー、開放廊下を含む。)	—
	及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	
	排水及び通気管	—

(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかき部は塗装を施す。
2. 排水管の管径がφ100mm以下の場合、防露VTRの場合は、保温を要しない。
3. 施工種別bの材料及び施工順序3、4に替え、フルミガラス化粧原紙を使用する。
4. 機器類の保温材の種別は、(※グラスウール ●ロックウール)とする。
5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・Ⅶとする。
※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放数量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。

19 防凍保温

※屋外露出給水管(呼び径20以下のみ)は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。
●図示の屋外露出部(給水管、消火管、給湯管、膨張管、膨張管、弁類を含む。)は下記仕様により防凍保温を行う。
※保温仕様は保温厚さを呼び径32以下は50mm、呼び径40以上は40mmとする。
●保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。

20 塗装

下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。
※機械室、書庫、倉庫 ●
下記の金属電線管は塗装を行う。
※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出(※見えかき部 ●)

●表示なき電線は、600Vエコマテリアルケーブルとする。
ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

●既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則として×線撮影調査を実施してから、ダイヤモンドカッターを使用すること。

②① 電線

22 はつり

●一般建築士事務所

千賀県知事登録 No.1-1709-4702

APPR

CHKD

DRAIN

本 社

千賀市中央区栄町36番10号
TEL 043-201-1277
FAX 043-201-1280

東京事務所

東京都中央区日本橋本町4丁目7番10号
TEL 03-3510-1336
FAX 03-5201-1013

工事名

(仮称)古河消防署駅西出張所建設工事

S=

N.S

DATE

.....

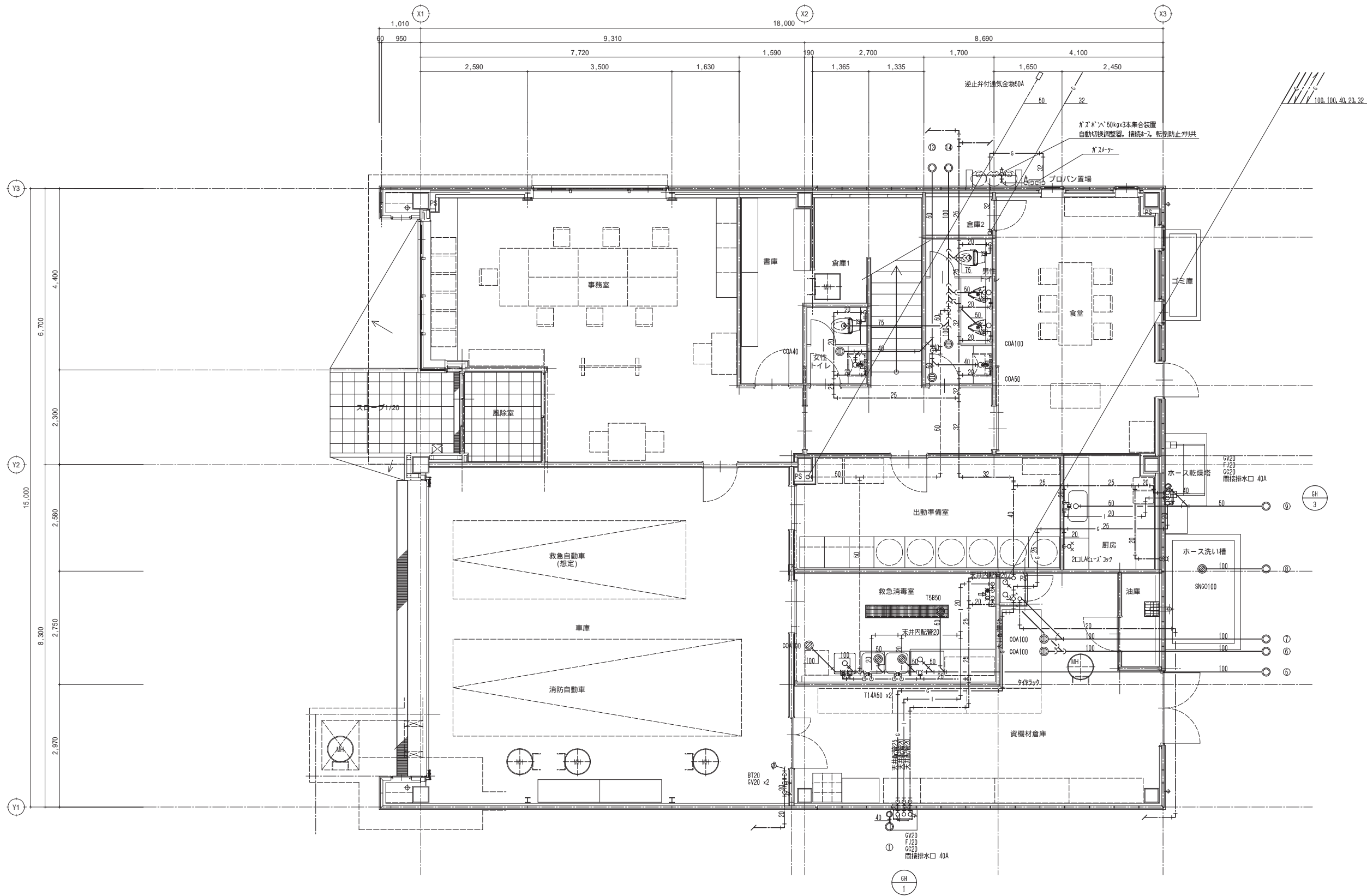
図 名

機械設備 特記仕様書(1)

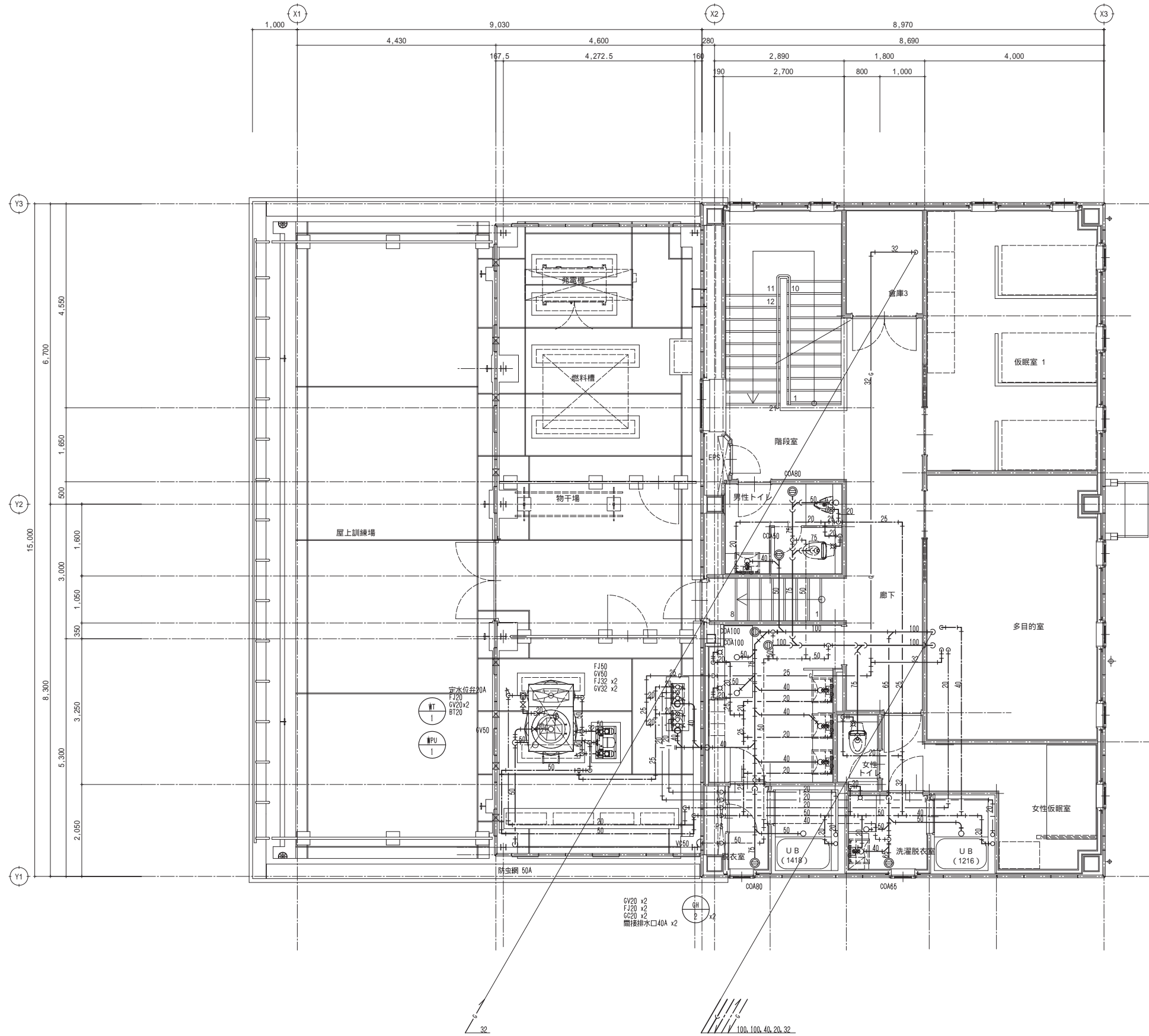
No

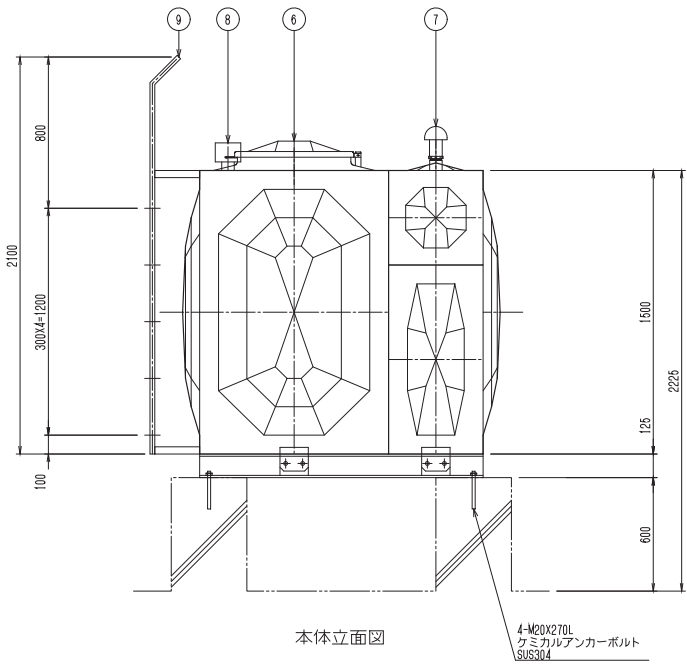
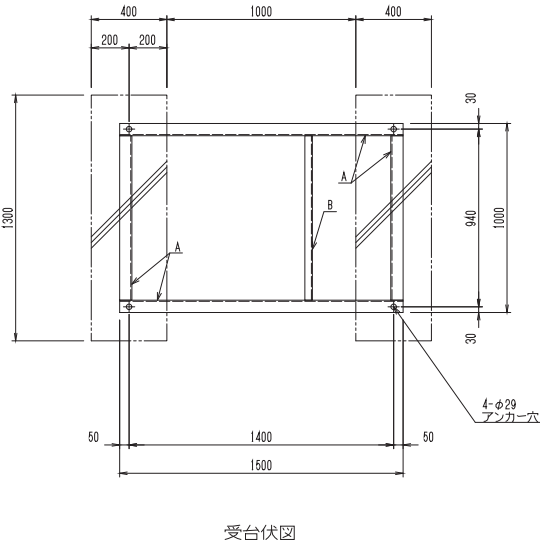
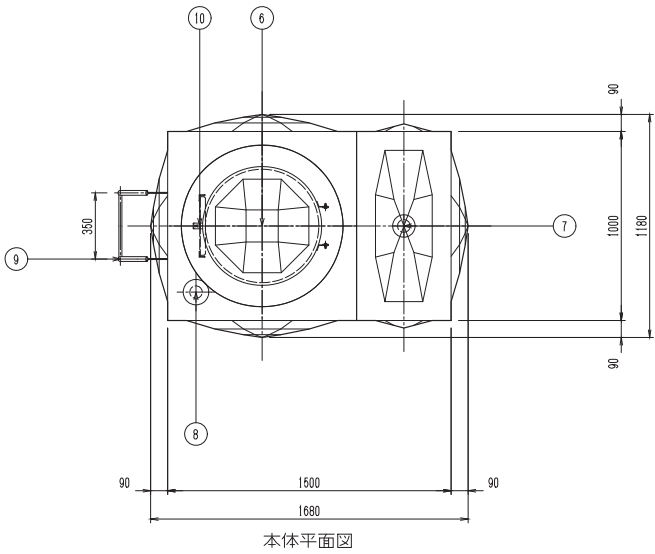
M-001

空気調和設備	① 設計温湿度	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">外 気</th><th colspan="4">屋 内</th><th rowspan="2"></th></tr><tr><th>温度(ＤＢ)</th><th>湿度(ＲＨ)</th><th>温度(ＤＢ)</th><th>湿度(ＲＨ)</th><th>温度(ＤＢ)</th><th>湿度(ＲＨ)</th></tr><tr><td>夏期</td><td>34.10</td><td>58.00%</td><td>26.00</td><td>%</td><td>%</td><td>%</td></tr><tr><td>冬期</td><td>-0.60</td><td>60.30%</td><td>22.00</td><td>%</td><td>%</td><td>%</td></tr></table>		外 気		屋 内					温度(ＤＢ)	湿度(ＲＨ)	温度(ＤＢ)	湿度(ＲＨ)	温度(ＤＢ)	湿度(ＲＨ)	夏期	34.10	58.00%	26.00	%	%	%	冬期	-0.60	60.30%	22.00	%	%	%	② 総合試運転調整	本工事・別途 風量調整 する ・しない 水量調整 ・する ・しない 騒音の測定 する ・しない 室内外空気の温度湿度の測定 する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ・しない 初期運転状態の記録 する ・しない	③ 煙 道	(１)鉄板厚 (３．２mm ・４．５mm) (２)はい煙濃度計 設ける ・設けない (３)はいじん量測定口 設ける(測定口は８０ とする)・設けない	④ 煙 突	別途 ・本工事	⑤ 長方形ダクト	低圧ダクト(亜鉛鉄板製) 長辺の長さ１５００mm以下 共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 アングルフランジ工法 ・高圧１ダクト(亜鉛鉄板製) ・高圧２ダクト(亜鉛鉄板製) ・ステンレス製ダクト(・Ａ区分 Ｂ区分)・塩ビ製ダクト(・Ａ区分 Ｂ区分)	⑥ 円形ダクト	スパイラルダクト(亜鉛鉄板製 ・ステンレス製) ・硬質塩化ビニル管(ＶＵ) ・換気用耐火二層管(大臣認定品) フレキシブルダクト(・保温付 ・保温無) (注)１ 使用区分は図示による。	⑦ 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト	⑧ チャンバー	(１)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (２)消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・３００×３００ ・３００×５００ ４００×６００ ・５５０×７５０ (３)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	⑨ ダンパー	(１)防煙ダンパー 復帰方式(遠隔 ・)定格入力ＤＣ２４Ｖ，０.７Ａ以下 (２)ピストンダンパー 復帰方式(遠隔 ・)	⑩ 多湿面の排気ダクト	(１)排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管(ＶＵ) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管)を使用できる。 ・浴室(シャワー室、脱衣室を含む) ・ (２)水抜き管は(厨房、浴室 ・)の排気ダクトには設ける	⑪ 保 温	下記のダクトの保温を行う。 ・全熱交換用の隠べい部ダクト(仕様 Ｎ・(ロ) ・ とし範囲は図示による) (厨房 ・湯沸室 ・)用の隠蔽べい部ダクト (仕様はh・(イ) ・ とし範囲は図示による。)	⑫ 風量調整 風量測定 する ・しない 騒音の測定 する ・しない	⑬ 試運転調整	風量調整 する ・しない 風量測定 する ・しない 騒音の測定 する ・しない	⑭ 1 ダ ク ト	亜鉛鉄板 ・	⑮ 2 排煙口の形式	天井取付(・スリット形 スイング形) ・壁取付 (・スリット形 ・スイング形)	⑯ 3 排煙口手動開放装置	開放及び復帰方式 ワイヤー式 ・電気式(遠隔操作 ・不要 ・要)	⑰ 4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務指導書(日本建築設備安全センター)の排煙風量の検査方法に準じる。	⑱ 1 中央監視制御装置	・有り 無し	⑲ 2 構成・機能	図示による	⑳ 3 エコケープルの使用	図示による	① 小便器用節水装置	JIS B 2026 (自動水栓)による電気開閉式とし、小便器(一体形・分離形)とする。	② バリヤフリー対応	○小便器 全部ストール形 ・一部ストール形 手すり(・本工事 別途工事) ○洗面器 自動水栓(・全部 一部) レバー式水栓(一部) ・シャワー サーマスタット式 ・ミキシング式 ・スライドバー ・フック 止水機能付節水形シャワーヘッド ○鏡 ３５０×４５０(耐食鏡) ６００×９００(耐食鏡)	③ 衛生器具付属水栓	(１)器具付属止水栓は ドライバー式 ・ハンドル式 (２)水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。	④ 自動水栓類の電源	ＡＣ１００Ｖ ・乾電池等	⑤ 暖房便座	(１)使用流体は、飲料用水道水とする。 (２)加熱方式 瞬間式 ・貯湯式 (３)給水方式 ・給水管直結給水 ポンプ加圧給水 (４)機能種別 温水洗浄 脱臭 便座暖房 ビデ洗浄(女子用) ・温風乾燥	⑥ 大便器洗浄弁・洗浄用タンク	器具表又は下記の場合を除き、 節水 型・節水 型とする。 洗浄弁操作方式は、 手動式・電気開閉式(センサー式・タッチスイッチ式) ・()部分で使用する大便器洗浄弁は低圧形とする。	⑦ 大便器耐火カバー	設ける(ビット内は除く) ・設けない	⑧ 掃除流し	共栓無しとする。	⑨ 排水器具用ゴム継手	使用できる ・使用できない	10 標 記 板	大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。	11 水せつけん入れ	せつけん供給栓等がない場合は、洗面器、手洗器に必ず設ける。	12 騒音装置	・女子用トイレブースに設置する。	⑬ そ の 他	衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。	① 配管材料	配管材料は下記による。 <table><tr><th colspan="2">施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td rowspan="5">上水配管</td><td>床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)</td><td>・SGP・VD・SUS H I V P</td></tr><tr><td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管)</td><td>・SGP・PD・SUS・H I V P</td></tr><tr><td>保温をしない屋外露出部</td><td>・SGP・PD・SUS</td></tr><tr><td>地中埋設部(水道直結部分)</td><td>・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 水道用ポリエチレン管</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="5">中水配管</td><td>地中埋設部(一般部分)</td><td>H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管(P E)</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>・SGP・VB・SUS H I V P</td></tr><tr><td>床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)</td><td>・SGP・PD・SUS・H I V P</td></tr><tr><td>湿潤シンダー内配管</td><td>・SGP・PD・SUS・H I V P</td></tr><tr><td rowspan="5">下水配管</td><td>保温をしない屋外露出部</td><td>・SGP・PD・SUS</td></tr><tr><td>地中埋設部(一般部分)</td><td>・H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管(P E)</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>・SGP・PB・SUS・H I V P</td></tr></table> (注)１．SUSとは、JIS G 3448 またはJWWA G 115 に規定するステンレス鋼管である。 継手は一般部(・圧縮 タフアイス 拡張)と 便所・廊下流し廻り露出配管(拡張)とする。 ２．ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。 ３．飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。	施 工 箇 所		管 種 別	上水配管	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)	・SGP・VD・SUS H I V P	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管)	・SGP・PD・SUS・H I V P	保温をしない屋外露出部	・SGP・PD・SUS	地中埋設部(水道直結部分)	・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 水道用ポリエチレン管	・	・	中水配管	地中埋設部(一般部分)	H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管(P E)	・	・	その他の部分	・SGP・VB・SUS H I V P	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)	・SGP・PD・SUS・H I V P	湿潤シンダー内配管	・SGP・PD・SUS・H I V P	下水配管	保温をしない屋外露出部	・SGP・PD・SUS	地中埋設部(一般部分)	・H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管(P E)	・	・	その他の部分	・SGP・PB・SUS・H I V P	② 水 栓	給排水栓を除き大きさの呼び１３の水栓は、節水コマとする。 ・水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。	③ 量 水 器	親メーター(貸与品 ・) ・子メーター(・買い取り ・)	④ 量水器樹	水道事業者指定品 ・標準図M C 形	⑤ 弁 類	規格はJ I S又はJ Vとし、水道直結部分は１０Ｋとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示及び標準仕様書による。	6 水 栓 柱	・耐寒コンクリート水栓柱(１２００Ｌ) ・不凍給水栓	⑦ 水道利用加入金	水道利用加入金は別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。	8 本管取出し	水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装復旧も含む。	① 配管材料	配管材料は下記による。 <table><tr><th colspan="2">施 工 箇 所</th><th>管 種 別</th></tr><tr><td rowspan="5">雑排水配管</td><td>床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)</td><td>・リサイクルV P ・V P R F ・V P</td></tr><tr><td>厨房等の温排水</td><td>・SGP(白) ・H T V P 管</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>・SGP(白)：2時間耐火 耐火二層管V P (FDPS-1)：1時間耐火まで</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>・リサイクルV P ・V P R F ・V P</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td rowspan="5">汚水配管</td><td>床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)</td><td>・リサイクルV P ・V P R F ・V P</td></tr><tr><td>耐火性能を要求される場所</td><td>・排水用/リターミタ 杉塗装鋼管：2時間耐火 耐火二層管V P (FDPS-1)：1時間耐火まで</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>・リサイクルV P ・V P R F ・V P</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>地中埋設部</td><td>・リサイクルV U ・リサイクルV P ・卵形管(ゴム輪接合) ・V U ・R E P ・V U (軽荷重の場合) V P</td></tr><tr><td rowspan="2">共通</td><td>耐火性能を要求される箇所</td><td>・SGP(白)：2時間耐火 耐火二層管V P (FDPS-1)：1時間耐火まで</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>・リサイクルV P V P ・R F ・V P</td></tr></table> (注)１．リサイクルV P、リサイクルV UはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-V P、RF-V U又は、REP-V Uは標準仕様書第2 編 1 ．2 ．6 による。 ２．雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 ３．原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY 4 5 度で行う。	施 工 箇 所		管 種 別	雑排水配管	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)	・リサイクルV P ・V P R F ・V P	厨房等の温排水	・SGP(白) ・H T V P 管	耐火性能を要求される箇所	・SGP(白)：2時間耐火 耐火二層管V P (FDPS-1)：1時間耐火まで	その他の部分	・リサイクルV P ・V P R F ・V P	・	・	汚水配管	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)	・リサイクルV P ・V P R F ・V P	耐火性能を要求される場所	・排水用/リターミタ 杉塗装鋼管：2時間耐火 耐火二層管V P (FDPS-1)：1時間耐火まで	その他の部分	・リサイクルV P ・V P R F ・V P	・	・	地中埋設部	・リサイクルV U ・リサイクルV P ・卵形管(ゴム輪接合) ・V U ・R E P ・V U (軽荷重の場合) V P	共通	耐火性能を要求される箇所	・SGP(白)：2時間耐火 耐火二層管V P (FDPS-1)：1時間耐火まで	その他の部分	・リサイクルV P V P ・R F ・V P	② 洗面器等の排水管	洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップする。	3 満水試験継手	3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 排除口付きソケット ・満水試験用排除口ソケット	④ 樹の適用	別紙樹表による。	① 配管材料	・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管(M鋼管) 一般配管用ステンレス鋼管 ・機器付属品	2 絶縁フランジ	取付部は下記による。 鋼管と鋼管及びこれに類する部分 鋼管とステンレス管及びこれに類する部分	③ 弁 類	(１)規格はJ I S又はJ Vとし、指定なきものは５Ｋ、それ以外は図示に図示による。 (２)ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。	④ ガス瞬間湯沸器	屋外設置の潜熱回収型 ・	⑤ 電気給湯器	飲用の場合は、80 以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。	① 配管材料	屋内消火栓用 一般配管 SGP(白) ・STPG370(白)Sch40 地中埋設 SGP・VS ・H I V P 消火用 一般配管 SGP(白) ・STPG370(白)Sch40 地中埋設 SGP・VS ・
		外 気		屋 内																																																																																																																																																																																													
温度(ＤＢ)		湿度(ＲＨ)	温度(ＤＢ)	湿度(ＲＨ)	温度(ＤＢ)	湿度(ＲＨ)																																																																																																																																																																																											
夏期	34.10	58.00%	26.00	%	%	%																																																																																																																																																																																											
冬期	-0.60	60.30%	22.00	%	%	%																																																																																																																																																																																											
施 工 箇 所		管 種 別																																																																																																																																																																																															
上水配管	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)	・SGP・VD・SUS H I V P																																																																																																																																																																																															
	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管)	・SGP・PD・SUS・H I V P																																																																																																																																																																																															
	保温をしない屋外露出部	・SGP・PD・SUS																																																																																																																																																																																															
	地中埋設部(水道直結部分)	・H I V P ・水道用ステンレス鋼管 水道用ポリエチレン管																																																																																																																																																																																															
	・	・																																																																																																																																																																																															
中水配管	地中埋設部(一般部分)	H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管(P E)																																																																																																																																																																																															
	・	・																																																																																																																																																																																															
	その他の部分	・SGP・VB・SUS H I V P																																																																																																																																																																																															
	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)	・SGP・PD・SUS・H I V P																																																																																																																																																																																															
	湿潤シンダー内配管	・SGP・PD・SUS・H I V P																																																																																																																																																																																															
下水配管	保温をしない屋外露出部	・SGP・PD・SUS																																																																																																																																																																																															
	地中埋設部(一般部分)	・H I V P ・水道用ポリエチレン管 ・水道配用水用ポリエチレン管(P E)																																																																																																																																																																																															
	・	・																																																																																																																																																																																															
	その他の部分	・SGP・PB・SUS・H I V P																																																																																																																																																																																															
	施 工 箇 所		管 種 別																																																																																																																																																																																														
雑排水配管	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)	・リサイクルV P ・V P R F ・V P																																																																																																																																																																																															
	厨房等の温排水	・SGP(白) ・H T V P 管																																																																																																																																																																																															
	耐火性能を要求される箇所	・SGP(白)：2時間耐火 耐火二層管V P (FDPS-1)：1時間耐火まで																																																																																																																																																																																															
	その他の部分	・リサイクルV P ・V P R F ・V P																																																																																																																																																																																															
	・	・																																																																																																																																																																																															
汚水配管	床下、暗渠内(ビット内、共同溝を含む。)	・リサイクルV P ・V P R F ・V P																																																																																																																																																																																															
	耐火性能を要求される場所	・排水用/リターミタ 杉塗装鋼管：2時間耐火 耐火二層管V P (FDPS-1)：1時間耐火まで																																																																																																																																																																																															
	その他の部分	・リサイクルV P ・V P R F ・V P																																																																																																																																																																																															
	・	・																																																																																																																																																																																															
	地中埋設部	・リサイクルV U ・リサイクルV P ・卵形管(ゴム輪接合) ・V U ・R E P ・V U (軽荷重の場合) V P																																																																																																																																																																																															
共通	耐火性能を要求される箇所	・SGP(白)：2時間耐火 耐火二層管V P (FDPS-1)：1時間耐火まで																																																																																																																																																																																															
	その他の部分	・リサイクルV P V P ・R F ・V P																																																																																																																																																																																															




(特記事項)
1. 脱衣室内排水管は、床コログシ配管とする。

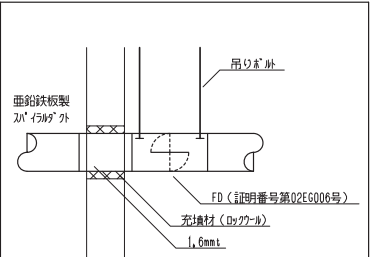




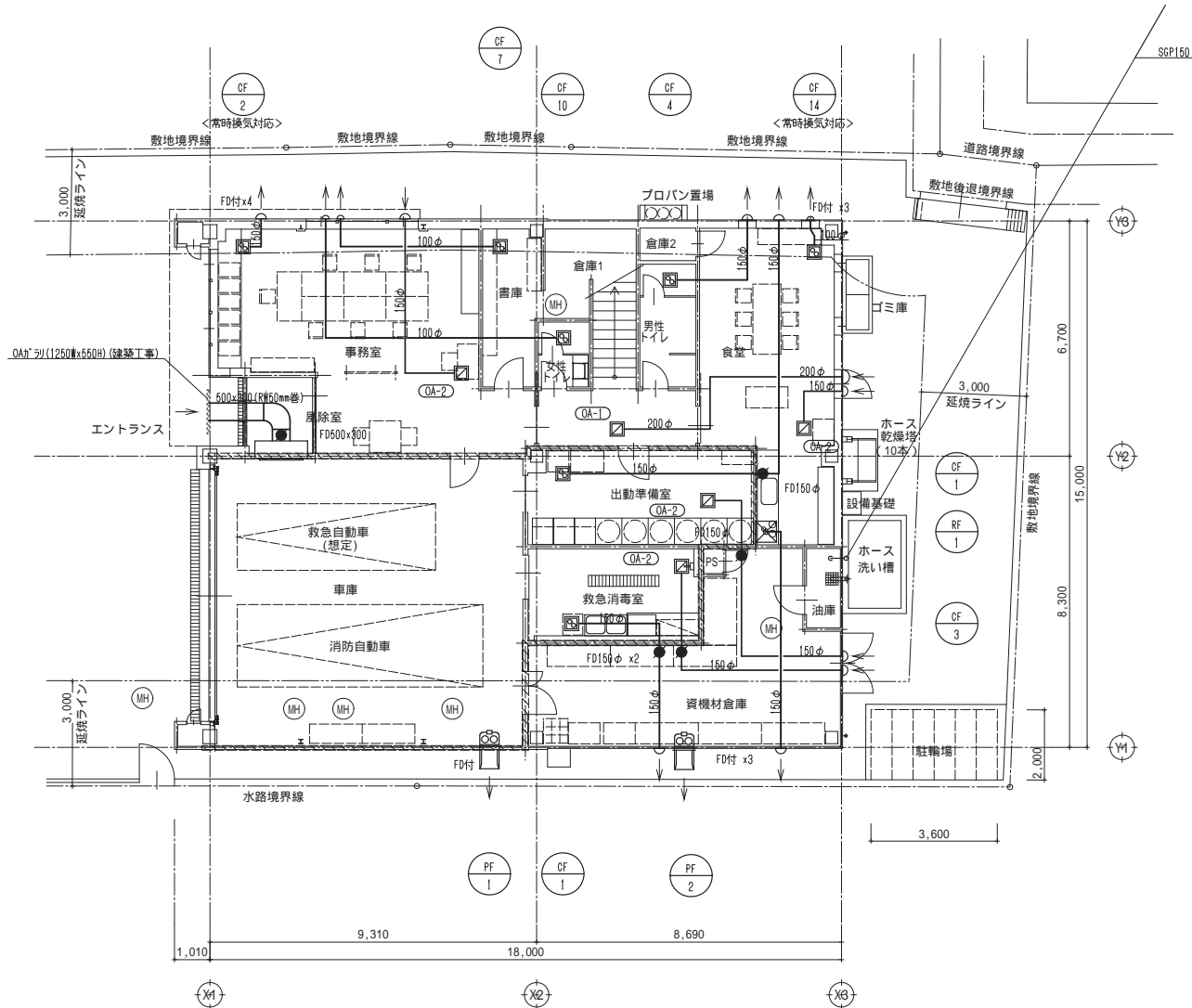
屋外設置		工場組立型 WT-1	
SUS329J4Lの範囲内で液面調整を行うこと			
溶接組立形ステンレスパネルタンク仕様			
設計水平精度		kh = 2.0	
寸 法		1000X1500X1500	
本 体	天板	φ1.5	数量 φ1.5 SUS329J4L
	底板(ガス)	φ1.0	数量 360H
受台(受台)	材	φ125X45X5	材 φ75X45X5
	S400		
仕 上	ステンレス溶接部は酸洗い・钝化処理		
	S2部は溶接亜鉛メッキ		
付 属 品		通風、電極カバー	
重 量	本体	160	kg 受台(受台) 85
		kg	kg
10	内はしこ	SUS329J4L	330X300 1 130X100
9	外はしこ	STM	350X300 1 φ25.4×4016
8	電極取付用座	ABS	50A 1
7	通 気 口	ABS	50A 1 防虫網付
6	マンホール	SUS329J4L	φ600 1 旋回式二重蓋(標準)
5	排 水 口	SUS304	
4	溢 水 口	SUS16	
3	給 水 口	SUS304	
2	補 水 口	SUS16	
1	本 体	SUS	23H-200H-7
品番	名 称	材 質	寸 法
			個数 備 考

- (特 記 事 項)
- 1 . 排気系統は、外壁から1m迄をGW25m/m巻きとする。
 - 2 . レンジフード排気系統は、全てをRW50m/m巻きとする。
 - 3 . 給気系統は、全てをGW25m/m巻きとする。
 - 4 . ベンチレーター配管は2階屋根上 (GL+9,000) まで立上げとする。
 - 5 .  は、防火区画壁を示す。

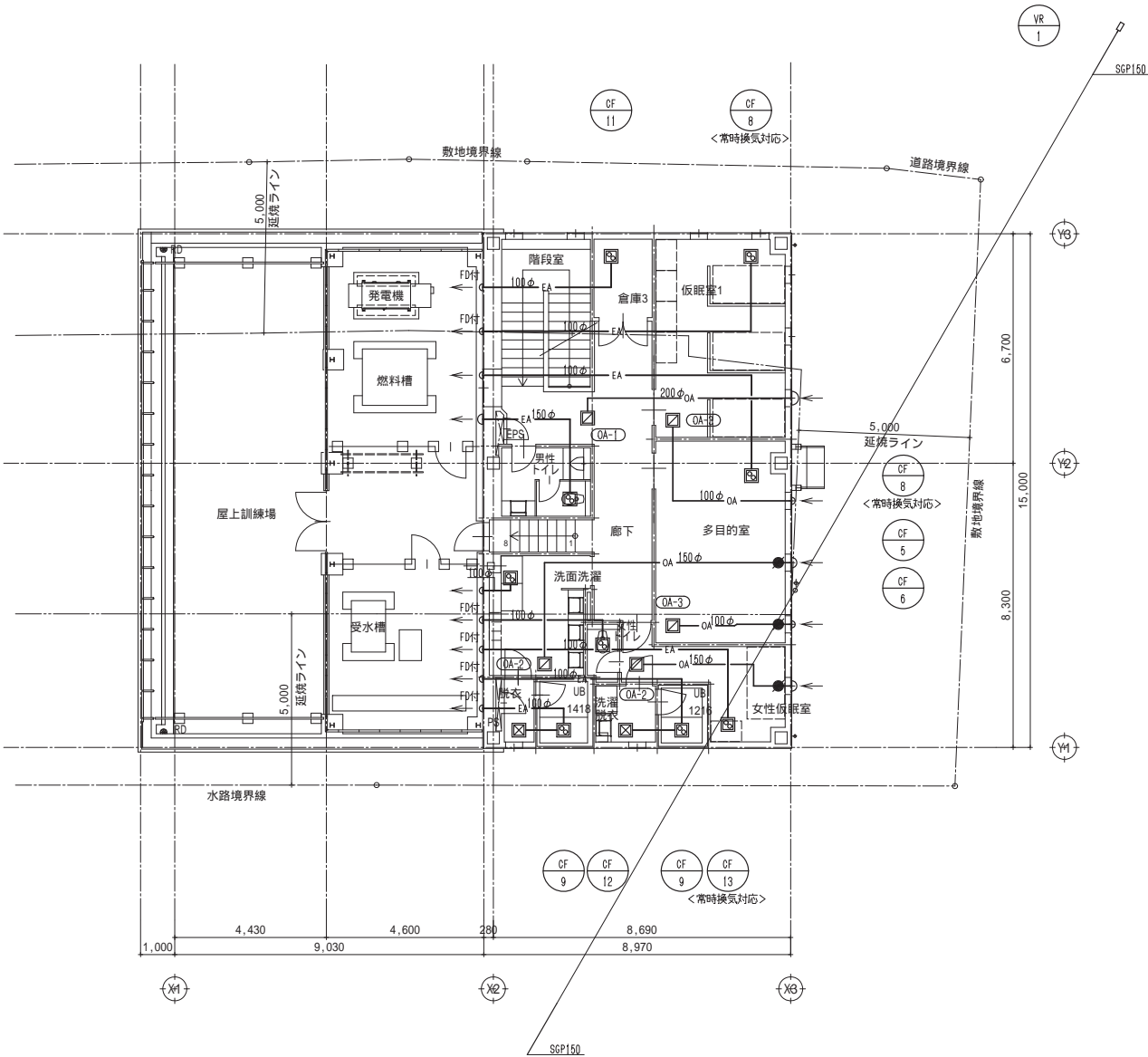
車 庫			
吹 出 口	VHS 1250x600	(3 610 (GMH))	x 1
ボックス	1500x500x800 H	GW25t内貼り	x 1



ダクトの防火区画貫通部措置工法



1階平面図 S=1/100

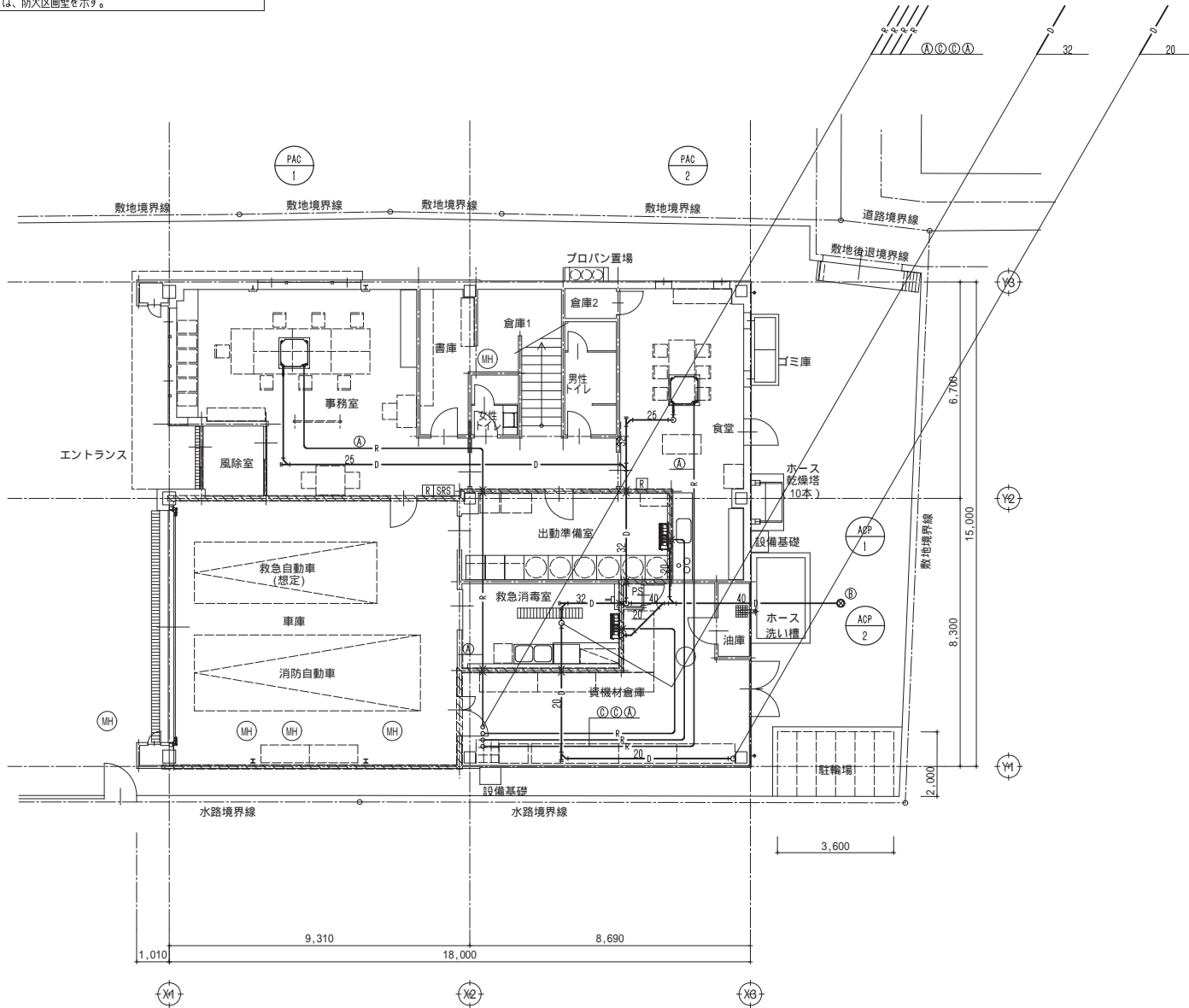


2階平面図 S=1/100

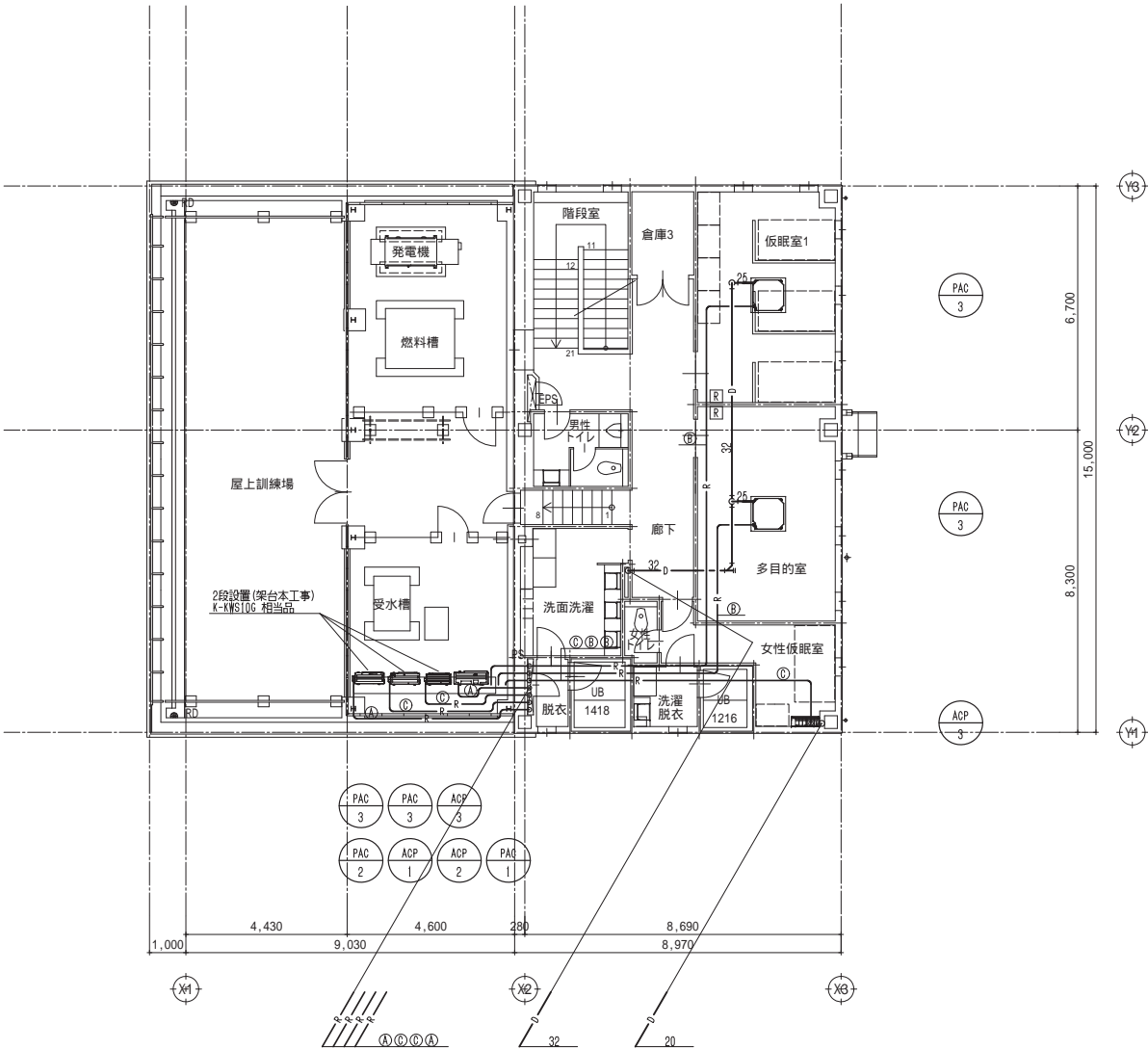
- (特記事項)
1. 屋外露出の冷媒管は、全てSUSラッキングにて施工とする。
2. ≡ は、区画貫通箇所を示す。(図示無き箇所も必要となる場合は、同様の対応とする。)
3. 区画貫通箇所は、国交省認定品(ファイバリア:国道交通大臣認定番号PS060WL-0131, 0130, PS060FL-0129, PS060EL-0196, PS060FL-0185相当品)を使用とする。
4. ドレン管は、保温付きフレキシブルホース(漏どれんホース相当品)及び、漏水検知テープ(漏どれんテープ相当品)を使用して空調と接続とする。
5. □ は、天井点検口(600φ,建築工事)を示す。
6. 液り配線(EM-CESI,250-20)は、本工事とする。(冷媒管共巻き)
7. 気り配線(EM-CESI,250-20)は、本工事とする。
8. リモコン配線の壁立ち下げ部分は、PF-10にて保護とする。
9. [R] は、空調機リモコンを示す。
10. [SSS] は、空調機集中リモコンを示す。
11. // は、防火区画壁を示す。

冷媒配管口径表		
記号	液 管	ガ ス 管
A	9.52 φ	15.88 φ
B	6.35 φ	12.7 φ
C	6.35 φ	9.52 φ

※ 冷媒管は、メーカーにより異なる。



1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100